

夢を叶えられる船倉

設計主旨

船倉とは、四国の西の果て、三崎町に根付いた生活文化であった。三崎町は8・9月の台風の時期になると、年間の約半分の降水量と海から強い潮風を受ける過酷な環境にある町です。また、佐田岬半島は、堂々山により南北に分けられており、その分水嶺が急激に海に落ち込むため、耕作面積が狭く農地には向かない土地柄になっています。ですが、黒潮の影響もあり海からの資源が多く漁業には向いている地域になっています。そのことから、船や漁の道具を収納するための「船倉」ができた。潮風を受けないために工夫を凝らした「あさじり」というような文化が発展してきました。しかし、現在は人口の減少に伴いその文化も廃れてきています。そこで、文化の再開発・再発見をしようと思い今回の舞台としました。

現状

私たちは今現在の船倉の様子・生活の様子を知るために、実際に三崎町に調査に行きました。

船倉とその周辺の調査結果は以下の通りです。

山口県
山口県
大分県

愛媛県
愛媛県
一写のように船倉の間はとて狭く狭くあり西尺八丈(約1.44m)になっている。
「船倉が壊れない」「船倉が壊れない」と言われたほど非常に狭い。

伊方地方
伊方地方
1船倉には屋根の形が2種類あり切妻屋根と寄棟屋根がある。
1防風・防雨を目的とした石で彩色片岩が使われている。

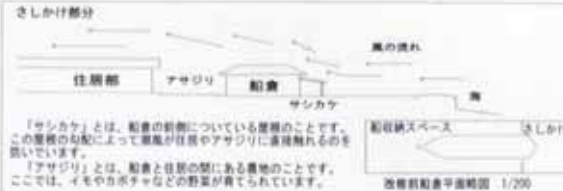
井野浦・大佐田
井野浦・大佐田
1この地域では、土地が狭く傾きの大きさも異なる。そのため、兄弟や親と畑を分ける際にこの地域特有の彩色片岩という美しい石で仕切っている。これは、正確に分けることができ、兄弟や親が土地を手放した時にも簡単に戻すことができるようになっている。
また、現在は数蔵された船もあつた。

風に耐えるために、柱は1mという狭い間隔になっている。



この部分が、柱間にあつている。
また、柱間の部分は、船の出し入れがあるため天井が標準より少し高くなっている。
この家では、2階のスペースを広く取るため、低いほうに合わせた。

物の貯蔵で、農具用の小棚として、農具はもろ人のこと、船やトラックの修理した野菜の保管庫として活用されている。



船倉改修前軸組模型

そして、具体的な採用案をひとまず四つ提案する。

第一提案

受渡車では、「受渡車」を「受渡車」として、受渡車全体をサイクリング・パラダイスにすることを目標としています。
そこには、三崎町と伊予市を繋ぐサイクリングコースもあり、中・上級者のサイクリストに人気のコースとなっています。
三崎町には大分との玄関口である海上国道1号7号線がある。丸根から来るサイクリストに向けてサイクリングロードの整備、拠点にしたいと思い、サイクリングショップ・実業内所となる船倉とします。

受渡車とは、農具用の小棚として、農具はもろ人のこと、船やトラックの修理した野菜の保管庫として活用されている。

第二提案

ここではバン屋としての改修案を紹介する。ここでは、量だけでない質で勝負してもらいたいというコンセプトにしています。店舗・実業内所では「1ターニング」制度を利用した人がバン屋を開業している人もあり、同様な夢を叶えたい人のために、この案を参考にしました。

このフリースペースでは、自転車などで乗られた方々の休憩スペースや、地域住民や、ここに集った方々との憩いの場になればよいと思い作成しました。

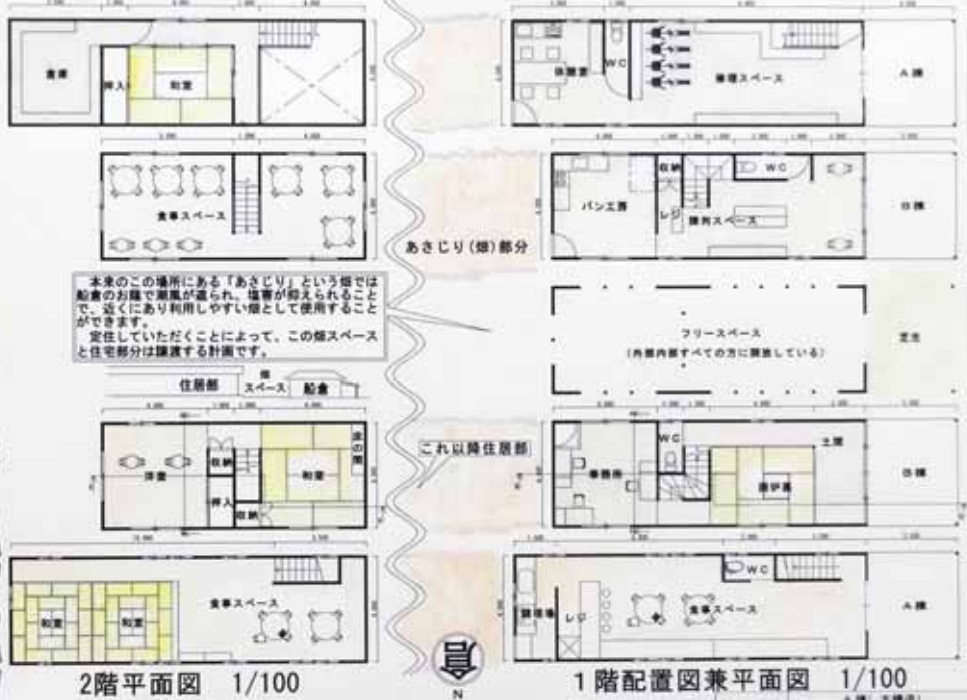
第三提案

事務所では夢を叶えたいという人たちの暮らしや船倉の管理を主に行ってもらいます。事務所オーナーは、1ターニングをしてきた家賃の方にしてもらうことで収入を得るといいうシステムになっており、たくさんの人が利用できるようにしたいです。

事務所では夢を叶えたいという人たちの暮らしや船倉の管理を主に行ってもらいます。

第四提案

三崎町には近くにスーパーが無く、高齢化が進んだ町人には買い出しも一苦労だと思われる。他にも、海に行き、長時間の作業をする漁師さんなどに向けて日持ちするカンヅメ等の販売、お店では世界各地の珍しいカンヅメと自家産産で栽培した野菜を使った料理が楽しめるというカフェになるような船倉とします。



2階には一時的に夢を持った若い人たちの泊るのことができる宿泊所になっています。



事務所 B-B断面パース

階層	坪数	坪単価(円)	坪(㎡)
1階	17000	4000	68
2階	17000	4000	68
3階	13000	4000	54
延べ面積	17000+17000+13000		122

計：水増し

階層	坪数	坪単価(円)	坪(㎡)
1階	15500	4000	62
2階	15500	4000	62
3階	10000	4000	40
延べ面積	15500+15500+10000		102

1階入り口付近に誰でも自由に出入りできるスペースを設けることで休憩所としての利用もできます。

今後の地域としての展望として

今回の計画の目的として、三崎町が「九州からの玄関口」「サイクリストの拠点」「漁業の町」など、様々な面で観光地として全国区に名が知られることです。今の三崎町にもたくさんの魅力がありますが、若い人が少なく外に向かって伝える力が弱くなっています。

そこで「夢を叶えられる船倉」をきっかけに、若く夢を持った人たちに集ってもらい自分自身の夢を、そして三崎町の魅力を多様な形で外に向かってアピールしてもらうことで、三崎町の知名度を上げてもらうことが今回の計画の最終目標になります。

改修前船倉立面図 1/100 (改修後も基本部分で変更なし)

改修前船倉断面図 1/100